

Photo ふなばし



とくしゅう
PART2

デイサービスの現場で
ふれあいから笑顔が生まれます

北老人デイサービスセンターで

MOVE

船橋市の表玄関

JR船橋駅南口の移り変わり

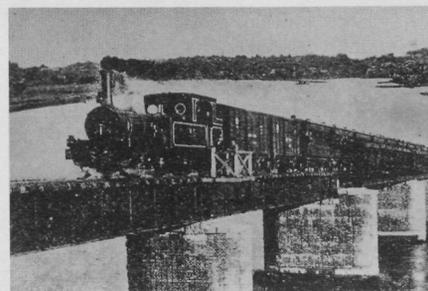
とくしゅう
PART1

写真で見る船橋物語Ⅳ

《近代》

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- サークル通信
- WE ARE IN FUNABASHI

まちなかの文化財／ふなばしの民話
市民ひとことインタビュー



江戸川鉄橋を走る総武鉄道の汽車
〔千葉鉄道管理局史〕より

vol. 83

広報ふなばし写真版

1月号（隔月第4月曜日発行）

MOVE

船橋市の表玄関

JR船橋駅南口の移り変わり



現在のJR船橋駅が誕生したのは、明治27年のことです。その後、1世紀の間に、鉄道を中心とした交通網が発達し、この南口は、船橋の表玄関として発展してきました。

昭和38年ごろから、大丸ビルの建設など、駅前の建築物の高層化が始まり、42年には、現在の駅前広場が完成。45年に船橋駅も高架化されました。

そして、54万都市となった今、21世紀の船橋の表玄関にふさわしい、魅力あふれる駅前に発展させようと、再開発事業が進められています。平成14年の春には、地上14階、地下3階建ての再開発ビルが完成する予定です。



JR船橋駅南口再開発ビルの完成予想図

既存の建物の取り壊し作業が進む、現在のJR船橋駅南口の駅前（西武百貨店船橋店屋上から）



昭和40年9月。現在の駅前広場が完成しました



昭和35年9月。「船橋市」の文字が大きく浮かぶネオンのアーチがありました（栗原 稔さん撮影）



昭和30年8月。奥の白いビルは昭和産業で、現在の西武百貨店の場所がありました（手塚博禮さん撮影）



昭和26年10月の国鉄船橋駅前（手塚博禮さん撮影）

